

グループホームの休日 平見ハイツ

コロナ禍でハイツの生活も我慢や制限が強いられ影響を受けましたが、感染対策を工夫しながら穏やかな生活を送れるようになっています。

普段はゆったりとしたそれぞれの生活スタイルを大切にしながら、夏の夜にはプチ花火大会をみんなで楽しみました。休日にはお昼ごはんをつくったりお出かけを楽しんだりもしています。

今年はもっといろいろなことを楽しめる生活が戻りますように。



作業所からのライブ参戦!!

いなほ作業所

いなほ作業所では、月1度の土曜日に余暇の取り組みを行っています。新型コロナウイルスの感染防止対策をしながらの取り組みは、外出することが難しく、作業所内で取り組むことが多いです。そんな中でも利用者が楽しめ、色々な経験をしてもらいたいと話し合い、大きなスクリーンに映画やアーティストのライブ動画を映して見ることになりました☆

大きな画面越しに見るライブ会場、そしてその会場で歌う大好きなアーティストを見て、みんな大興奮でした♪ 新型コロナウイルスが落ち着いたらDVDではなく、本当のライブ会場に行きたいです♪ 実現できるその日まで、みんなで仕事もがんばるぞ!



トピックス 販売車輌助成☆

和歌山県共同募金会様より助成して頂き、いなほ作業所で使う販売車輌を新しく購入しました。車輌が新しくなり安心・安全な販売ができるようになりました。ありがとうございました。

編集後記

2021年の年越しはハイツ(グループホーム)での夜勤。ちゃんと鍋を囲みながら、美味しそうに食べ、ほころんだ顔を見ていると、なんだかこちらまで嬉しく温かい気持ちになりました。この仕事に就いて良かったなあとしみじみ感じた大晦日の夜になりました。2022年も素敵な一年になりますように。



いなほ福祉会ニュース 第82号

- 発行日／令和4年3月
 - 発行者／社会福祉法人いなほ福祉会
 - 住 所／那智勝浦町中里575
 - 電 話／0735-57-0334
- ◎公式ウェブサイト
<http://www.inahofukushikai.jp>
- ◎E-mail
info@inahofukushikai.jp



いなほ福祉会ニュース

がんばってま～す

82

ごあいさつ

皆様には、お健やかにお過ごしのこととお喜び申し上げます。

平素は、いなほ福祉会の各種障害児者福祉事業に対しまして、ご理解とご支援を賜り心より御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響が長く続くなか、一日でも早くコロナウイルスに影響されない日々が戻ることを願うばかりです。いなほ作業所では、年4回開催していた「パン祭り」もこの間、中止を余儀なくされ、パンの販売先も制約があるなど売り上げに大きな影響を受けています。

こうした中、いなほ福祉会では、新宮市佐野地区にある「ワークショップゆう」の移転整備計画をすすめて



います。新しい施設を整備し、作業活動を充実させるとともに、「ワークショップゆう」の利用を希望する方を一人でも多く受け入れられるよう整備事業を着実にすすめて参りたいと考えています。

私たち、いなほ福祉会は、自立のための支援や豊かな発達保障を目指す理念の下、さらなる高みをめざし質の高い支援を行えるよう関係者一同これまで以上の努力を行って参りたいと存じます。

今後も引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げご挨拶いたします。

いなほ福祉会 理事長 細野建治

道の駅
たいじで
販売!



新たなこころみ ワークショップゆう

ワークショップゆうのオリジナルクッキー『ゆうキー』が、道の駅たいじの直売所で販売することになりました!

そしてもうひとつ、「タイダイ染め」を始めた♪ タイ(Tie=縛る)ダイ(Dye=染める)の名の通り、縛った布に染料をつけていろんな模様と色を楽しむ事ができる染め物です♪ 少しづつですがバンダナやTシャツの注文をいただけるようになっています。直売所等に並べるようになった時には、みんなで染めた綺麗な模様や色を見ていただけたらと思います。





児童発達支援…成長や発達が気になる子どもさんや、育児不安があるご家庭の子どもさんを対象に保育・療育を行います。いなほ福祉会の児童発達支援では、子どもたちは保護者から離れ、友だちと生活を共にし日中過ごします。友だちと、生活や遊びを通して、基本的生活習慣を確立し、人との関りや好きな遊びを広げ、子ども自身が主人公として、豊かな生活を送ることを目指しています。子どもの育ちの中での不安や、悩み事があれば、気軽に相談してください。

通園くじら(和歌山県那智勝浦町勝浦 342)・**通園らっこ**(和歌山県串本町津荷 250-1)・**通園めだか**(三重県紀宝町鮎田 1052-1)の**子ども達の1年の姿を季節を通して紹介します。**

春

主な行事 入園式・春の遠足・家族参観



『通園ってどんな所かな?』『どんな人がいるのかな?』初めての集団生活に緊張や期待、不安などが入り交じり新入児さんやご家族にとってはドキドキわくわくの新生活です。春に環境が変わるのは在園児さんも同じで、新たな環境に慣れるまで不安が大きくなる子どももいます。通園では、子ども自身がわかって参加できるように、シンプルな保育の流れを組み立てるとともに、見てわかるなど環境の工夫をしています。春は、どの子どもにとっても園生活の基礎を作る大切な季節です。



夏

主な行事 プール・夏祭り・お泊り保育



夏になると、子どもたちの大好きな『プール遊び』が始まります。水が苦手な子どもは少しずつ慣らしてゆき、たっぷりと水遊びを楽しんだ後プールへと向かいます。5歳児はこの時期に『お泊り保育』を行います。

家族から離れて、一晩泊まった5歳児は名実共に年長さんとして遅く成長し、その姿を見た年下の子どもたちには5歳児への憧れの気持ちが育まれます。

夏は、プール等この季節にしかできない遊びを通して心と体を開放させることで、様々な事に挑戦する気持ちの土台が広がる季節です。



冬

主な行事 クリスマス会・生活発表会・お別れ遠足・卒園式



一年の集大成とも言える生活発表会は、子どもたちが一年間遊びや生活を通して育んできた『おはなしやイメージの世界』を披露する行事です。『おはなしの世界』の役になりきる子どもたちの姿は、とても可愛く一年の成長を感じます。発表会が終わるとお別れ遠足・卒園式と、あつという間です。

冬は、一年間の子ども達の成長を感じる季節です。人との関わりが心地良いと思う気持ち、みんなと一緒に楽しいと思う気持ち、うまく出来なかった時でも折れてしまわない逞しさ、手伝って!!と言えるしなやかさ、何より自信をもって新たな春を迎えてほしいと願う季節であります。



秋

主な行事 運動会・芋ほり



運動会は通園の二大行事の一つで、運動面での子どもたちの発達を見ていただく行事です。通園の運動会は、子どもたちが楽しんできたことを保育士のアイデアと演出を通して披露します。大勢の観客の前で頑張った子どもたちは、達成感を味わいその経験が自信へと繋がっていきます。また、木の実拾いや、お弁当を持っての

お出かけ、芋ほりの体験など様々な経験を通して、友だちへの憧れの気持ちが育ち、子ども同士の絆も深まる時期です。

秋は、大きな行事を通して自信をつけ、友だちとの関係も深まることで、遊びの世界が飛躍的に広がる季節です。



放ディほたる(三重県紀宝町井内88)…障がいのある小学生から高校生の子ども達が、放課後や長期休暇中に、友達と遊んでいます。散歩やおでかけ、お買い物、ゲーム、ダンスなど、様々な活動や遊びを通して、友達と一緒に楽しみながら過ごしています。学校でも家庭でもない、子ども達の大事な居場所です。



下校

ほたる到着

宿題

あつまり



おやつ



あそび



掃除



あつまり



降所

送迎車で各学校へお迎え。「今日は何して遊ぼうかな~」

ほたるに帰ったら、まず宿題。「今日の宿題むつかしいな~。おしゃべ~」

リーダーさんが、名前を呼んで、今日することの確認をします。

友達と食べるお菓子は、おいしいね♡ 会話も弾みます。

室内でも外でもどちらで遊んでも良い時間です。その時の気分で、好きな遊びを選びます。

片づけの後は、雑巾を絞って床の拭き掃除。子ども達のおかげで、ほたるの床はいつもピカピカ☆です。

今日遊んだことを振り返ります。「今日も楽しかった~」という気持ちで終われるといいな。

ほたるにお迎えの子ども、送迎車で帰る子ども。どの子も、家へ帰る時は笑顔です。